

登米高等学校

校訓 誠実 勤勉 進取



1 基本データ

創立：大正9年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：137名
所在地：〒987-0702
登米市登米町寺池桜小路3
TEL：0220-52-2670
FAX：0220-52-2671

ホームページアドレス：
<https://tome-h.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
tome-h@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
JR気仙沼線柳津駅より登米市市民バス津山線
「登米総合支所」下車 徒歩5分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

to me

地域を支える人材育成のため、登米高校は良き伝統を継承して、新たな歴史の創造へと動き出しました。

夢実現のため、登生は、授業や部活動、生徒会活動に全力で取り組んでいます。

登米高校は、頑張るみんなをあらゆる面で全力で応援します。

ここは、みんなが夢を叶えることができる高校です。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

登米高校は、登米伊達氏2万1千石の城下町「みやぎの明治村」として名高い登米市登米町にあります。創立は大正9年4月、登米町立登米実科高等女学校として誕生しました。昭和2年、県への移管で宮城県立登米高等女学校と校名を改め、昭和23年の学制改革に伴い、宮城県登米高等学校に改称しました。翌昭和24年には男女共学校となり、昭和45年に商業科が設置され、商業科を併設する普通高校として40年以上地域に親しまれてきました。地域内の高校再編統合により平成29年3月に商業科が閉科となり、平成29年度には普通科のみの高校となりました。令和2年度に創立100周年を迎え、令和3年10月に記念式典が行われました。

(2) 教育方針

- 確かな学力を身に付け、生徒の志望を達成させる教育
- 社会人として自立できる人間づくり
- 生徒・保護者・地域とともに歩み、信頼される学校づくり

(3) 教育課程の特色

令和4年度からの新教育課程は、これまでと同様に、基礎・基本をおさえ、社会人としての自立と多様な希望進路を実現するための学力の定着を目指しています。

1年生では進路探究を行いながら各教科をバランス良く学習し、2年生からは進路探究を更に深め、希望進路、適性、興味・関心な

どに応じた科目選択が行えるようになっていきます。

1年生で自分の進路への知見を広げ、2年生でそれを更に深めながら、希望進路に向けた学習を行います。そして3年生では、国公立・私立大学、専門学校・各種学校への進学から民間就職、公務員といったそれぞれの進路希望に向けた多様な科目選択を行い、進路達成を目指します。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

<主な行事>

- 4月：入学式、対面式、実力テスト
- 5月：生徒総会
- 6月：第1回考査
- 7月：芸術鑑賞会、体育大会
- 9月：第2回考査、生徒会役員選挙
- 10月：登高祭、生徒総会
- 11月：第3回考査
- 12月：インターンシップ(1学年)、修学旅行(2学年)
- 1月：新春百人一首カルタ会
- 2月：第4回考査
- 3月：卒業式

<生徒会活動・部活動>

生徒会活動では、生徒会役員が中心となり実行委員と協力して、登高祭(文化祭)などの各行事を自主的に企画・実行しています。また、学校の伝統を守り続けながらも時代に沿った校則改定に取り組むなど、活発に活動が行われています。

伝統的に部活動は、運動部・文化部ともに盛んに活動しています。

運動部では、カヌー部や陸上競技部が昨年度も各大会・各種目で入賞をし、目覚ましい活躍を見せています。

文化部では、美術・写真部が県高校美術展をはじめ、各種美術展、写真展に出展しています。また、吹奏楽部は、定期演奏会や各種地域イベントへの参加により活発に活動し、総合文化部ボランティア班は近隣の施設を訪問してボランティア活動を活発に行っています。

部活動以外では、読書活動が盛んで、朝のSHR前の朝読書は22年目を迎え、読書活動優秀実践校として全国表彰されています。地域の小中学校との交流も盛んで、近隣の小学校や保育園での絵本の「読み聞かせ」や、運動部による小学生の指導・中学生との交流などを積極的に行っています。また令和元年度は、台湾からの修学旅行生を受け入れ、郷

土料理であるはっと汁の調理・試食や、体育の授業を合同で行うなどし、異文化交流にも力を入れました。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
大学	10	16	25
短期大学	6	6	14
専各学校	21	35	51
就職(県内)	13	36	15
就職(県外)	2	3	1
その他	2	1	1
卒業生計	54	97	107

主な進路先(令和7年3月卒業生)

()内は人数、(1)は省略

<大学>

東北学院大学(2)、東北福祉大学、宮城学院女子大学、尚綱学院大学、仙台白百合女子大学、仙台青葉学院大学、仙台大学(2)、日本体育大学

<短期大学等>

仙台赤門短期大学、聖和学園短期大学(3)、仙台青葉学院短期大学、東北職業能力開発大学校(3)

<専修各種学校>

気仙沼市立病院附属看護専門学校、石巻市医師会附属看護学校、仙台ウェディング&ブライダル専門学校、仙台大原簿記情報公務員専門学校、仙台こども専門学校、仙台スイーツ&カフェ専門学校(2)、仙台ビューティーアート専門学校、仙台ヘアメイク専門学校、専門学校デジタルアーツ仙台、専門学校東北動物看護学院(2)、東京服飾専門学校、東京法律公務員専門学校 仙台校、東北電子専門学校(3)、東北保険医療専門学校(2)、バンタンデザイン研究所、宮城県立石巻高等技術専門学校

<就職>

登米市消防、登米市職員、日本郵便(株)、(株)薬王堂、(株)ヤマダデンキ、エスビー食品(株)宮城工場、(株)ウジエスパー(2)、(株)登米村田製作所、(株)宮城県食肉流通公社、JFE商事コーメック(株)、東京発條(株)宮城工場、トヨテツ東北(株)、迫りコー(株)

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

カヌー部 目指せ！連続インターハイ出場！

カヌー部は、女子5名・男子8名の計13名で活動しています。登米高校カヌー部は、全員高校から始めた初心者ですが、毎年全国規模の大会に出場する選手を輩出しています。新しいことを始めたいなら、まずはカヌー部へ！ 私たちと一緒に、全国の舞台上で活躍してみませんか？



菊地 陽斗さん（中田中出身）からのコメント
今年度の目標は、男子「中新田に勝つ」、女子「県総体女子総合優勝」です。男女ともに掲げた目標を達成できるように、日々練習に励んでいます。6月には、県総体と東北総体が開催されるので、練習の成果を発揮できるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

吹奏楽部 みんなに届け！登米高サウンド！



本校吹奏楽部は地域に密着した活動を行っています。中高連携での合同練習や、地域のお祭りにおける依頼演奏など、音楽の力で地元を元気にしたいという思いを持って日々活動しています。

阿部 琴乃さん（志津川中出身）、千葉 柑菜さん（中田中出身）からのコメント
現在、登米高校吹奏楽部は2年生2名で活動しています。地域のイベント、学校行事での演奏、吹奏楽コンクール、定期演奏会、アンサンブルコンテストなど、多くの活動に参加しています。少ない人数ではありますが、OB・OGの先輩方や先生方に協力をいただき、日々活動しています。これからも、吹奏楽の良さを知られるように頑張ります。是非、私たちと一緒に音楽を楽しみましょう！

(2) 学校行事

体育大会

例年7月に、体育大会が行われます。学年クラス対抗で競い合い、クラス内だけでなく、学校全体の絆を深め合います。今年度からは1日開催となり、フットサル・バレーボール・バスケットボール・ドッチボール・障害物競走・綱引きを実施し、白熱した試合を繰り広げました。



登高祭（文化祭）

例年9～10月に文化祭を行っています。昨年度は、テーマを「咲満笑楽～It's amazing! 彩る登高祭～」とし、1日目に校内発表、2日目に一般公開を行いました。吹奏楽部や軽音楽部の演奏、実行委員・生徒会など各団体による発表、PTAの方々によるバザー出店、風見鶏歴史資料室の一般公開など、見所満載の文化祭となりました。



新春百人一首カルタ会

毎年1月に、図書館会場で1・2年生のクラス代表生徒と希望者の参加による百人一首かるた会が行われています。くじ引きで4人が1テーブルを囲み、チラシ取りで競技します。企画担当の図書委員が運営にあたり、伝統のカルタ会を成功させました。今年度、大接戦の末に優勝を勝ち取ったクラスはなんと1年生でした！



(3) 学校制服紹介

「登米高生としての自信と誇りが持てる制服」をコンセプトにした、歴史と伝統のある登米の町並みになじむオリジナル詰め襟とブレザーです。令和4年度より、女子用スラックスも導入されました。



(4) 施設紹介



↑上は令和3年に改修工事を終えた体育館です。バスケットボールのゴールの出し入れが全て電動になり、バドミントンのコートが8面とれるなど、充実した設備が整っています。



↑上の音楽ホールは、学年集会や講話、吹奏楽部や軽音楽部の活動などで使用されています。

→右の風見鶏歴史資料室には、登米高設立時や、それ以前からの歴史を偲ぶことができる貴重な資料が展示されています。令和4年度から、文化祭で一般にも公開されています。



4 在校生からのメッセージ

北浦 小春さん（佐沼中出身）からメッセージ

登米高校は、創立104年の歴史のある学校です。生徒会が中心となってあいさつ運動をしていて、学校内でも生徒一人一人があいさつを活発にしています。部活動では、初心者も経験者も関係なく一人一人が真剣に活動し、仲間と共に切磋琢磨しています。進路については、悩んでいることがあっても学校の先生が親身になって相談に乗ってくれます。「進路を考える日」では講師の方々や先輩などからの貴重なお話を聞き自分の進みたい進路にまっすぐ進むことができます。私たちと共に明るく楽しい充実した学校生活にいきましょう。



加藤 凜音さん（米山中出身）からメッセージ

登米高校は歴史ある学校で地域との交流も深く、在校生や地域の人々から愛されている学校です。登米高校の生徒は挨拶が活発です。また、周りの人と積極的に助け合って物事を進めるといった協力的な秀でており、みんなで楽しい学校生活を送っています。さらに部活動も熱心に取り組んでおり、そこでは先輩達が親身になって僕達に部活というものを教えてくれました。また、生徒一人一人の進路を先生達が把握し直接話を聞いてくれたり、進路について熱心にサポートしてくれたり、先生方も生徒の夢のために頑張っています。ぜひ登米高校に来て楽しい学校生活を送りましょう。

